

トランプの絵柄の意味・モデル等

JJ1SXA/池

2018年9月8日に、NHKで放送された「チコちゃんに叱られる」で取り上げていましたが、トランプの絵柄(キング、クイーン、ジャック)に意味があり、それぞれにモデルがあると言うことですが、過去に聞いたことがあるような気もしますが、定かではありません、この際だというわけで調べて見ました。

御存じの通り、トランプは、52枚(+ジョーカー)からなるカードで、スペード、ハート、ダイヤ、クラブの4種類があり、キング、クイーン、ジャックには絵柄が描かれています。トランプは、英語では、「playing cards」と呼ばれていて、英語で、「trump・トランプ」といえば、ゲームの切り札という意味になるそうです。

切り札という意味で使われていた「トランプ」という言葉を、カードそのものの名前だと勘違いした日本人が、そのままカードの名前として使ったために、日本では、このカードのことをトランプと呼ぶようになったと言われていました。

トランプの4種類のマークには、それぞれ意味があり、K、Q、Jに描かれた絵柄には、モデルになった人物がいます。

トランプには、スペード、ハート、ダイヤ、クラブの4種類のマークがありますが、それぞれのマークは、中世ヨーロッパの身分のシンボルを表しているとされています。

スペードは「剣」を表していて、剣から連想される「貴族や軍人」を意味するといわれています。

ハートは「聖杯」を表していて、聖杯から連想される「僧侶や聖職者」を意味するといわれています、ハートは、もともと、教会のカップ(聖杯)のマークでした、また、ハートは「愛」を表わすともいわれています。

ダイヤは「貨幣」をあらわしていて、貨幣から連想される「商人」を意味するともいわれています、菱形は、ダイヤモンドをイメージしていると言われていました。

クラブは「こん棒」を表していて、こん棒から連想される「農民」を意味すると言われていました、英語で「club」は「こん棒」という意味です、また、クラブは「知恵・学問」を表すとも言われています。

また、トランプのマークは、一年の春夏秋冬を表しているとも言われています。

スペードは「冬」

ハートは「秋」

ダイヤは「夏」

クラブは「春」

トランプが52枚あるのは、一年の52週を表していて、AからKまで13枚のカードがあるのは、それぞれの季節の13週を表していると言います。

トランプの52枚の全ての数字を合計すると364になりますが、これにジョーカーの1枚1を加えると365となり、1年の365日に一致します、エキストラジョーカーは、うる年に対応していると言われます。

トランプのK(キング)、Q(クイーン)、J(ジャック)には絵柄が描かれていますが、それぞれ、モデルになった人物がいます。

K(キング)には「王」、Q(クイーン)には「女王、王妃」、J(ジャック)には「兵士」が描かれていますが、世界の超定番カードゲームのトランプだけあって、どれも世界的な偉人ばかりです。

ちなみに、ジョーカーは「Joke」+「er」で「冗談を言う人」、つまり道化師です。

K(キング)の絵柄

スペード:ダビデ王(古代イスラエル国王)

ハート:カール大帝(8世紀ころのフランク王国の国王)

ダイヤ:ジュリアス・シーザー(紀元前1世紀のローマの皇帝)

クラブ:アレキサンダー大王(紀元前4世紀のマケドニアの王)

Q(クイーン)の絵柄

スペード:パラス・アテナ(ギリシア神話の女神)

ハート:ジューディス(旧約聖書に登場するユダヤの女戦士)

ダイヤ:ラケル(旧約聖書の創世記に登場するヤコブの妻)

クラブ:アージン(シャルル7世の妻もしくは愛人)

J(ジャック)の絵柄

スペード:オジェール・ダノア(カール大帝の十二勇士の一人)

ハート:ラ・イール(ジャンヌ・ダルクの戦友)

ダイヤ:ヘクトール(ギリシア神話に登場するトロイ最強の勇士)

クラブ:サー・ランスロット(アーサー王伝説に登場する円卓の騎士)

関心の度合いを表す顔の向きと角度

トランプ絵札、K(キング)、Q(クイーン)、J(ジャック)には、人物の絵柄が描かれていますが、良く見ると、マークに対するそれぞれの顔の向きや角度が異なっています。

この、顔の向きや角度によって、マークに対する関心の強さを表していると言われていま

す。

スペードが死、ハートが恋愛、ダイヤがお金、クラブが学問を表すとすれば、それぞれの絵札の表す意味は次のようになります。

キング

スペード:少し顔をそむけている→死に対してあまり関心がない

ハート:少し顔をむけている→恋愛に対して少し関心がある

ダイヤ:完全に顔を向けている→お金に関して非常に関心がある

クラブ:少し顔をむけている→学問に関して少し関心がある

クイーン

スペード:少し顔をそむけている→死に対してあまり関心がない

ハート:少し顔を向けている→恋愛に対して少し関心がある

ダイヤ:少し顔を向けている→お金に関して少し関心がある

クラブ:少し顔を向けている→学問に関して少し関心がある

ジャック

スペード:完全に顔を向けている→死に対して全く関心がない

ハート:完全に顔を向けている→恋愛に対して非常に関心がある

ダイヤ:少し顔を向けている→お金に関して少し関心がある

クラブ:少し顔をそむけている→学問に対して余り関心がない

スペードのエースだけが装飾されている

トランプの中で、他のカードとは大きく異なった描き方がされているカードが「スペードのエース」です。

他のカードは、シンプルに描かれていますが、スペードのエースの「中央のスペードの図柄」だけは、装飾されて他のカードの図柄よりも大きく描かれています。

トランプにかけられていた税金の名残り

スペードのエースだけが、装飾された図柄になっているのは、昔トランプに税金がかけられていた時代の名残りだといわれています。

イギリスは、1615年にトランプに輸入関税をかけ、1628年には国内で生産されたトランプにも税を課しました。

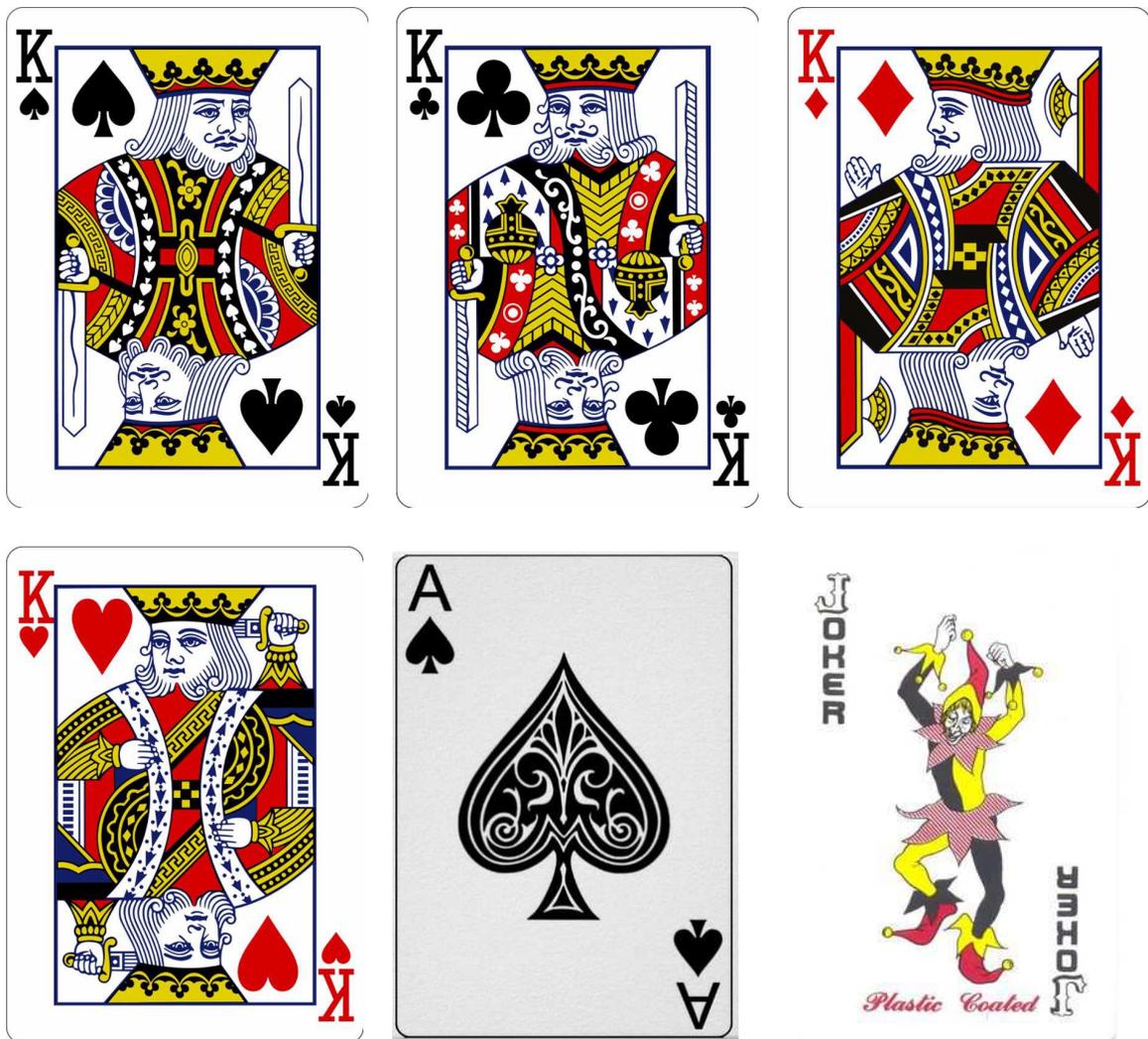
それ以降、他のヨーロッパ諸国もトランプに税を課すようになりますが、18世紀に入ると、スペードのエースの札を政府が印刷して、その札を税金と引き換えに渡すようになったと言われています、スペードのエースが、納税証明になっていたというわけです。

偽造を防ぐために、図柄の中に「王冠の模様」や「製造者の名前」などを入れることもあったといわれています。

現在でも、スペードのエースだけが装飾されたデザインになっているのは、このことが由来になっているとされています。

日本でもトランプに課税されていた

現在の日本では、トランプに税金は課せられていませんが、消費税を導入される以前は、「トランプ類税」という名目で、トランプにも課税されていました。「トランプ類税」は、麻雀牌・トランプ・花札など、ギャンブル性の強いカードゲーム類に課されていたが、1989年の消費税導入に伴う間接税の整理によって廃止された、トランプ類税が廃止される直前には、トランプ1組に60円の税金が課せられていた、ただし、児童用トランプや個人が自分で遊ぶためのみに製作したものは課税対象外で、子供向け雑誌の付録にトランプをつける場合は、カードの裏面やパッケージなどに「児童用 非課税」と明記されていたそうで、賭博性を生じさせない為の対策が施されていたようです。



スペードのキングだけ、右向きだ、そして、ハートのキングには髭が無い！

装飾された図柄のスペードのエースは「トランプ税」の名残り

トランプを購入すると、箱には通常、ジョーカーが2枚入っている、もう1枚のジョーカー（エキストラジョーカー）は、失くした時の予備では無い、「閏年」を表しているのだ

スペードのキングの右向き、ハートのキングの髭無しは、気付いてない人が多いそうだ、私も知らなかった、スペードのエースが装飾された図柄というのは気付いていたが、ジョーカーが2枚あるのは、単純にスペアだと思っていた、「トランプ類税」の事も知らなかった、今更ながら知らないことが多すぎる！